信頼と誇り

恵み野病院だより

令和2年9月11日 No



ごあいさつ

貝嶋光信 院長

皆様いかがお過ごしですか?現在新型コロナウイルス感染症は北海道内とりわけ恵庭 では鳴りを潜めていますが、油断大敵!いつ我が身に降りかからないとも限りません。 感染予防の対応は怠ること無く、ウイルスに負けない体力と抵抗力を養いましょう。

閑話休題。また台風のシーズンになりました。一昨年関西に大打撃を与え北海道も襲っ た台風21号は9月4日から5日にかけての襲来でしたし、昨年の多摩川氾濫と信濃川決壊 をもたらした台風19号はなんと10月12日でした。まさにこれからが台風の季節本番

です。最近の台風は巨大化し、晩秋まで日本に襲来し、さらに北海道まで熱帯低気圧のままで届きます。 ご自分の地域のハザードマップを恵庭市のホームページから一度確認しておかれることをお勧めします。

(9月8日記)



恵庭市 www.city.eniwa.hokkaido.jp







病院敷地内禁煙のお知らせ

当院の病院建物内および駐車場、通路を含む敷地内での喫煙は禁止となっております。 皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



看護部 3階病棟紹介

<部門紹介>

消化器内科・消化器外科病棟

消化器内科医師3名、消化器外科医師4名、看護師34名、看護助手6名、医事課クラーク、薬剤師、 ソーシャルワーカー、管理栄養士、リハビリスタッフと共に患者さんの入院生活を支援しています。

<入院患者さんの主な疾患>

イレウス、総胆管結石、胆石胆嚢炎、胃癌、膵臓癌、肝臓癌、肝硬変、胆管癌、大腸癌など

他科と連携して急性腎不全に対する緊急透析、家族性高コレステロール血症に対するLDL吸着、潰瘍性大腸 炎などに対するG-CAP療法、薬物中毒に対する血液吸着、敗血症性ショックに対するエンドトキシン 吸着、血漿交換などその他のさまざまな血液浄化療法も透析センターで行っています。

<病棟の特徴>

3階病棟は消化器内科、消化器外科の病棟です。大腸力メラや胃力メラなどの内視鏡的検査や、内視 鏡的治療を受けられる患者さんや、手術を受けられる患者さんが入院されている病棟です。毎日入退 院が多い病棟ですが、看護師一同協力し合いながら日々看護に取り組んでいます。

●退院支援

患者さんやご家族が今後の生活をイメージでき、安心して退院できるよう入院時よりカンファレン スを行い、生活背景や患者さんとご家族双方の気持ちを考慮し、何が最善なのかを他職種も交え話し 合い、今後の方向性を決めていく退院支援にも力を入れています。

●看護の振り返り

終末期を過ごし亡くなられた患者さん全員の死亡症例カンファレンスを行っています。それぞれの 患者さんに実践してきた看護を振り返り、今後の課題を見出し次に繋がる看護ができるよう取り組ん でいます。

<病棟を華やかに>

入院中の患者さんのなかには入院期間が長期間となっている患者さんもいらっしゃいます。患者さ んが季節を感じられるよう、装飾を行っています。



8月は夏仕様になっていました







(2)